

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 臨時 号)

2026年1月21日発行

兵庫のり研究所

海域全般に、キートセロス等、多種の珪藻類がやや多くなっており、海域西部ほど多い状況です。窒素は、海域地先で $1\sim4\text{ }\mu\text{g at/L}$ 台、大阪湾の海水の影響が見られる林崎新漁場沖筋で $1\sim2\text{ }\mu\text{g at/L}$ 台、その他の地点で概ね $1\text{ }\mu\text{g at/L}$ 以下の値となっています。

(水温) 渔场内平均10.9°C (平年比1.0°C、昨年比1.2°Cともに高い)。

(珪藻)

海域全般に、多種の珪藻類がやや多くなっており、ユーカンピアは、前回(1/16)同様、全域で確認されるようになっているが、増加は見られない。また、高砂漁場⑧ではキートセロス等、珪藻類が多く確認された。

海域地先 (⑤⑥⑦) では、陸水の影響が見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.7	10.9	9.9	9.7
窒素	1.5	1.5	3.9	4.0
リン	0.35	0.34	0.43	0.49

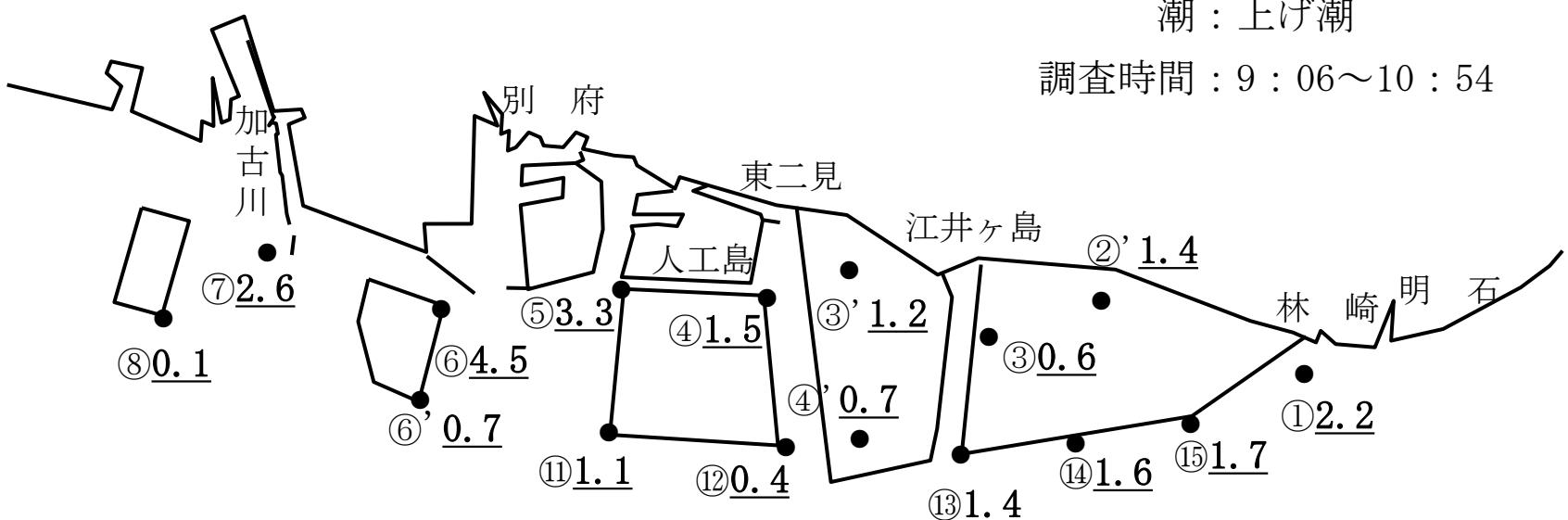
※窒素の平均
は⑥を除く

2026年1月21日調査

栄養塩（窒素）図

潮：上げ潮

調査時間：9：06～10：54



水温図

